



持続可能な未来に向け 人と地球にやさしい新しい消費活動

～企業との連携を通して～

名古屋葵大学 生活環境学科
消費者教育ゼミナール

1. エシカル消費とは

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動

(消費者庁, 2020)

作り手の想いや社会的・環境的背景を理解すること(価値)が、消費者の

共感を生み、購買行動を促進する

(鈴木・尾上, 2019)



作り手の「**想い**」・「**価値**」を効果的に伝える媒体

< **ポスター** >

立ち止まって読んでもらえる
掲示型の情報媒体

エシカル消費に適している



「手づくり」と「AI」では、
どちらがよく伝わる？

取り組み1 伝わるデザインとは

エシカル消費啓発ポスター「手づくり」と「AI」の提案

<コンセプト>

「エシカル消費の価値・障がい者支援の意義・地域とのつながりの温かさを優しいビジュアルとわかりやすい言葉で伝える」



手づくりポスター(A)

VS



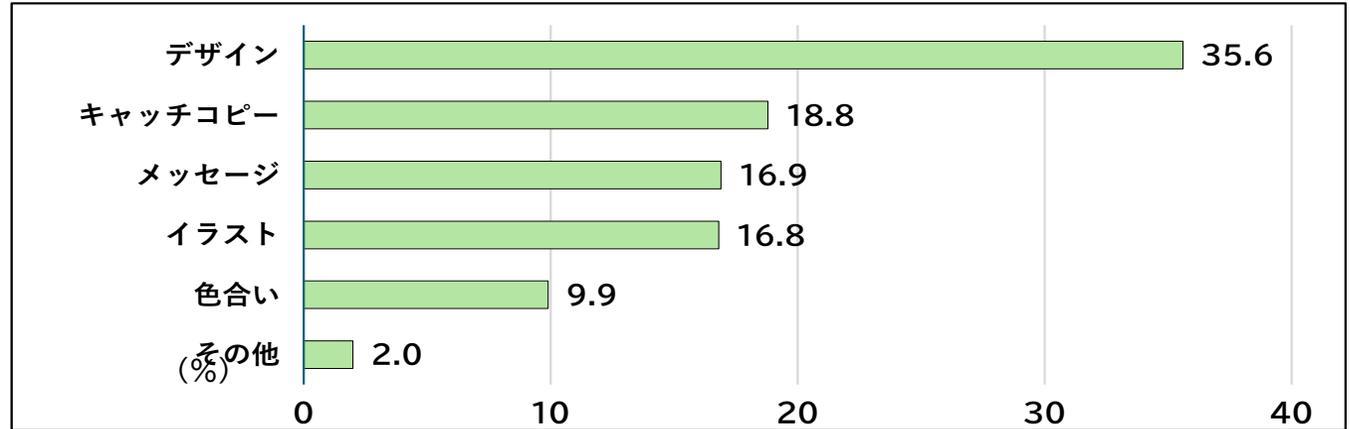
AIポスター(B)

アンケート調査結果: 世代で異なる「伝わり方」 (2025年9月~11月実施)

○手づくり・AIポスターの比較

- ①作り手の想いの伝わりやすさ(メッセージ性)
 - ②情報の整理や視認性(イラスト・デザイン)
 - ③興味・関心(印象に残るポスター)
- 20代以下は手づくりを支持
30代以上はAIを支持

エシカル消費啓発ポスターに求める要素



デザイン、キャッチコピーなどの要素が、内容への関心を喚起する上で重視される。

エシカル消費の価値を効果的に伝えるためには、対象とする世代に応じて、手づくりとAIを組み合わせながら伝えたい内容や表現方法を工夫することが重要。

名古屋葵大学×「社会福祉法人ほっとはむ」の協働

○手作りクッキーを広めるための工夫
「おいしい」が「うれしい」につながる取り組み

手づくりクッキー



①パッケージの制作 ほっとはむの「金の鳥」



一歩進んだ
啓発

+
消費者教育ゼミデザインのシール



福祉×おいしさで
笑顔を広げる

エシカル消費とは
より良い社会に向けた人や
社会、環境に配慮した消費
行動のこと。

人や社会に配慮した消費

→ ex.福祉作業所で作られた
商品の購入

このクッキーは生活介護
施設の通所者さんが
ひとつひとつ心を込めて
手づくりしています。
働く喜び、支える地域のつながりを
大切にしています。



名古屋葵大学消費者教育ゼミ

②改良ポスターで啓発

2. エシカル消費の課題：意識と行動のギャップ



- 「もったいない」意識はあるが、日常では利便性や価格が優先されているのではないか。
- エシカル消費を知っているが、行動に移す意識は低いのではないか。

アンケート調査から「意識と行動のギャップ」が生じる背景を考察し、大学生の価値観を明らかにし、解決方法を考察する。

アンケート調査結果：大学生の価値観を分析

(2025年9月～11月実施)

○「もったいない」意識の定着

- ・食品ロス削減や地産地消、期限の近い商品の購入など、身近な配慮は習慣となっている。

○利便性と心理的な壁

- ・修理やエシカル商品の購入は、手間やコストが妨げとなっている。
- ・社会課題を自分とは無関係な問題だと感じているのではないか。
- ・価格より社会貢献を優先する層は少ない。

「もったいない」意識が社会に貢献する具体的な購買行動へと結びついていない。



取り組み2

地域をつなぐプロジェクト

地産地消・伝統食品の継承・食品ロス削減・防災食に役立つ商品の提案



- ・豊橋市名産「大葉」を使用
- ・伝統食品「三河佃煮」の継承
- ・真空パックにより常温で1年間の保存が可能



・デザインの工夫

社会貢献は堅苦しいイメージ

➡デザインやパッケージの工夫で、ポジティブな消費行動へ

・手間を減らす

管理にかかるコストと手間がエシカル消費の妨げ

➡真空パック(長期保存)等で利便性の向上

・身近な視点で捉える

知らない誰かの問題は、他人ごとと感じやすい

➡地元の伝統や作り手の想いを伝え、自分が誰かの役に立っている実感

3. 啓発活動

2025年11月15日名古屋消費生活フェア なごやエシカルフェア 他



提供品の陳列の工夫



大学発表の様子



啓発活動の様子



啓発活動の様子

12 防災 消費生活

防災に役立つエシカル消費

エシカル消費って???

エシカル (ethical) = 「倫理的・道徳的」
エシカル消費は、人・社会・環境に配慮した
製品やサービスを選んで消費すること。

ローリングストック 食品ロス削減 伝統食品の継承
地産地消

ローリングストックとは普段食べている食品を少し多めに買い置きし、消費したら補充する方法 (例:缶詰、真空パック食品)

災害時の非常食を「買いっぱなし」にせず、日常的に循環させることで賞味期限切れを防ぎ、食品ロスを減らせます。

提供商品！
濱金商店 佃煮
地元の食材を使用した伝統的製造方法の加工食品

https://www.no-foodloss.caa.go.jp/topic_mar.html

「エシカル消費」は人・社会・環境に優しい選択＝「長く使えるもの」であり、「ローリングストック」はその具体的な実践方法の一つです。

食べて備える、やさしい防災を始めよう

名古屋葵大学生活環境学科
消費者教育ゼミ

掲示ポスターの一部

「伝える」より「共に考える」
姿勢を重視

私たちにできること

創業明治七年

濱金

豊橋・魚町本店



私たちは豊橋市の「濱金商店」や天白区の社会福祉事業所「ほっとはむ」と連携して人や社会にやさしいエシカル消費を広める活動を行っています。



～私たちのゼミだからこそできること～

- ・消費者目線×学び×実践で、地域とともに成長できる活動
- ・若者の感性を活かしたデザインや発信で、「エシカル」を身近に感じてもらう工夫
- ・企業・施設・地域住民をつなぐ「人の温かさ」が伝わるプロジェクト

エシカル消費を「当たり前」に！

消費者教育ゼミでは、エシカル消費を「特別な行動」ではなく、誰もが無理なく選べる「**あたりの選択**」として定着させていくこと、この意識の変化が、持続可能な未来を作る原動力になると考えています。

これからも、エシカル消費活動の応援を
よろしくお願いします。

名古屋葵大学生生活環境学科
消費者教育ゼミナール 一同